

# LRTの導入とコンパクトシティ

**日時：10月15日（火）16:50-18:35**

**場所：国際学術総合研究棟12階 1219**

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、富山県富山市活力都市創造部路面電車推進課指導官 谷口博司氏からお話を伺います。

富山市では、まちづくりの理念を「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に、公共交通を「串」に見立てた、「お団子と串」の都市構造を目指しています。このことから、公共交通の活性化、その沿線地区への居住推進、さらには中心市街地の活性化に取り組んでいます。

特に全国初となる本格的なLRT富山ライトレールの事例についてはリーディングプロジェクトでもあり、本プロジェクトの成功は同市のまちづくりの方向を決定づけたものです。

本講においては、政策実施に伴う現場の状況を踏まえ、LRTの導入の経緯や政策実施に伴う現場の状況を紹介し、コンパクトなまちづくりやLRT導入について多面的に考察を行います。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生は直接教室に参集願います。

（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。ご注意ください）。

－問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット [ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp)－



富山県富山市  
活力都市創造部  
路面電車推進課指導官

谷口博司氏